

令和6年度茨木市バリアフリー基本構想協議会 会議録

1 日 時

令和7(2025)年5月21日(水) 15時00分～16時30分

2 場 所

市役所南館10階大会議室

3 出 席 者

・委員

塚口委員、猪井委員、伊良原委員、岩合委員、佐藤委員、向委員、六條委員、山下(裕)委員、伊敷委員、中野委員、山中委員、山下(智)委員、土山委員、吉岡委員、宮城委員、佐治委員、安部委員、瀧藤委員、父川委員、村上委員、山崎委員、岡田委員、辻田委員、福田委員

・事務局

交通政策課、道路課、施設課、長寿介護課、障害福祉課、学校教育推進課、危機管理課

4 欠 席 者

吉村委員、宮本委員、澤田委員

5 開催形態

公開(傍聴人0人)

6 次第及び議事内容

(1) 開会(建設部長挨拶)

(2) 【議事1】: 事業進捗状況について

【議事2】: その他

【議事1】: 事業進捗状況について

(塚口会長あいさつ)

・本日は進捗管理の場だが、計画は作って終わりではなく、いかに実施するかが重要。移動に不便を感じておられる方の可能性を、少しでも高められるようにしなければいけない。単なる計画の進捗管理ではなく、BFでは進捗が非常に重要である。

〔事務局からの説明〕

（塚口会長）

- ・事務局から説明のあった事業進捗について、意見・質問等あれば伺いたい。

（山下委員）

- ・学校施設について、非常時のエレベーターのパスワード管理、非常電源についてどうなっているか。
- ・非常時に職員が対応できないかもしれないので、平時より操作できるようにされたい。

（事務局：施設課）

有事の際、対応できるよう確認する。

（佐藤委員）

- ・交通事業者で白杖研修を行っているということだが、当事者参加の研修をご検討いただきたい。
- ・踏切内のエスコートゾーン設置について、感謝申し上げます。
- ・駅前周辺は整備されていると感じるが、沢良宜浜周辺の道路は歩道がなく、車道を歩いているため危険。歩道を設置されたい。

（事務局：道路課）

別途、詳しい場所等を確認させていただく。

（岩合委員）

- ・摂津市で近鉄バスを利用した際、車いすの方の対応がテキパキとしていてよかった。

（六條委員）

- ・エスコートゾーンについて、山下委員、伊良原委員と箕面市の視察に参加した。それぞれの特性に応じて整備できたと思う。
- ・合同庁舎のバリアフリースイレのカギが閉めにくいと感じた。市役所内で共有されたい。
- ・学校施設のエレベーターについて、設置されている棟と設置されていない棟があり、渡り廊下などを通してエレベーターがある棟に行くことが難しい人もいる。設置率はよいが、エレベーターを使用する人が全館行くことができるかどうか気になる。課題等あれば教えてほしい。
- ・洋式トイレの設置率だけでなく、バリアフリースイレの設置率も資料に記載されたい。

・鉄道事業者の研修について、佐藤委員が話していた通り、当事者も可能な限り参加させてほしい。

・2年前から開催している阪急バスの接遇研修について、近鉄バス・京阪バスも合同で実施するようになり、運輸支局からも評価をいただいている。事業実績に積極的に紹介されたい。

(事務局：施設課)

避難所使用の観点が含まれているかと思うが、教育現場における児童・生徒を第一優先として整備を進めている。避難所としての整備も今後関係課と調整していく。

多目的トイレについては、各校一箇所設置している。

(佐藤委員)

・無人駅について、サポートが同行しない視覚障害者にとって、駅員がいないと駅を利用することが困難になる。

(伊敷委員)

・一人で外出する際は駅員に誘導してもらうため、駅員がいなかったらいいか。

・事前に駅を利用することを連絡すれば対応してもらえる等、そういったサポートがあるのであればホームページなどで広報されたい。

・点字ブロックの位置について、無人の窓口であれば改札に誘導するように設置されたい。

(山下(智)委員)

阪急電鉄では、完全に無人駅ではなく7時～22時のみ駅員がいるという対応をしている。モニター付きインターホンでの対応や、事前の電話予約による対応もしている。4/24からインターネットでの予約も導入した。

(塚口会長)

JR西日本の無人駅の考え方について、いかがか。

(山中委員)

人材不足により、無人駅は増えている。障害のある方のサポートを充実させられるようにシステムの導入を進めている。

(山下(裕)委員)

・無人駅について、インターホン等で対応しているとのことだが、駅員が来るのまで時間がかかることが多い。

・駅の無人化は社会全体の課題であるので、意見交換の場を設けたい。

(事務局：交通政策課)

交通だけで解決することは難しいので、福祉部局など、他課とも連携して取り組んでいかないとはいけないと考えている。

(伊良原委員)

- ・山下委員の話について、茨木市だけでは根本的な解決にはならないと考えている。
- ・大阪市の桜島駅の事例等、今後の見通しなどを随時広報されたい。

(塚口会長)

今はどこでも人員不足が課題となっている。

無人駅の問題については、広域的に議論をする必要がある。

この場で解決することが難しいことでも、声を上げることによって、解決に向かっていくのではないかと思う。

(六條委員)

・吹田市では阪急電鉄と市職員と団体に協議をしている。そういった当事者と鉄道事業者、市の検討会などが必要ではないか。鉄道事業者には積極的に参加してほしいと考えている。

(伊敷委員)

- ・どこかの自治体で、ホームからの転落時の対応研修をしており、そういった研修をすることによって、無人駅でも障害のある方が緊急時に対応できるのではないか。
- ・重点整備地区以外の道路について、市民から声が上がったら対応するのか、定期的に見回りなどはしているのか。

(事務局：道路課、交通政策課)

重点整備地区以外の道路についても、バリアフリーの観点を含め整備している。また、道路パトロールでの市内巡回の際、危険な箇所があれば速やかに対応している。

重点整備地区以外の施設についても、バリアフリー化が求められるものについては、基本構想の方針に基づいて進めている。

(六條委員)

- ・当事者の話を聞いてもらえる仕組みが必要と考える。
- ・バリアフリーの整備後、当事者が評価することも大事だと思う。

(猪井副会長)

・自転車でも青切符が切られるようになり、自転車について関心が強い時期のため、今の時期に自転車マナーの周知をすると効果的ではないかと考える。マナー向上により、様々な人が安全に移動することができる。

・南茨木駅、総持寺駅周辺は整備が進んでいるが、茨木駅・茨木市駅周辺は難しい課題が残っている。大阪府の整備についても、継続的にされたい。

(以上)